

## 令和6年度自己評価及び学校関係者評価書

## 1 本年度の学校評価をふりかえって

秋商キャリア教育をもとに、日々の授業を大切に、ビジネス実践や外部講師などを活用して、社会人基礎力を身に付けさせ、主体的に物事を考えさせる取り組みをしている。

教職員は、一人一人が高い意識を持ち、学校全体として組織的な教育活動に取り組んでいる。今後も商業高校の教育の特色を活かし、秋田県商業教育の中心校としてその役割を果たし、学校の発展に努めていきたい。

## 2 評価結果の概要

分野	評価項目	取り組み状況と成果・課題	評価	改善策	学校関係者評価の意見
本年度の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生命を尊重する心や他者を思いやる広い心を培うとともに、挨拶や礼儀を重んじ、心身の鍛錬に励み、心身ともに健全で人間性豊かな生徒の育成に努める。</li> <li>・秋商キャリア教育の実践を通して、幅広い教養と確かな学力の向上を図り、生徒一人一人の進路実現の達成に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上と資格取得に向けた積極的な取り組みを推進する。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各コースの特色を生かした高度な資格取得やコースの柱となる資格を設定し、取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域と学校との連携を深めることは大事である。引き続き地域と連携した防災訓練を実施してほしい。</li> <li>・地域の大人や子ども達と関わる活動をしていく中で大学生も成長することを確認した。地域連携は是非継続してほしい。</li> </ul>
教育課程・学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的・対話的で深い学びの実践の推進と基礎学力の定着を図り、学力の向上を目指す。</li> <li>・学習指導要領改訂をふまえた評価方法の改善と新教育課程の円滑な実施を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業内でのICTの活用はされているが、思考力や判断力、主体性の育成に結びつけるためのさらなる研鑽が必要である。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内規や評価システムを含めた学習評価の体系的な整備を進める。</li> <li>・生徒の思考力や判断力、主体性を伸ばす手立てとしたICTの活用方法について研究する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の整容面の問題は家庭が取り組むべきことではないのか。</li> </ul>
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路意識の早期確立と学年や進路志望に関する継続的な指導を行う。</li> <li>・主体的な進路決定のための進路情報の的確な収集と提供を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校3年間の見通しを立て「行きたいところ」を志望する意識を持たせる契機をつくることができた。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「進路の手引き」を改訂するとともに、3学年を通した進路指導の有効な取組について協議する。</li> </ul>	
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生らしい立ち居振る舞いや公共心を身に付けさせる。</li> <li>・登下校時の交通安全指導を実施する。</li> <li>・いじめの早期発見とチームによる対応を心がける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の安全意識が向上し、自転車事故が昨年よりも減少した。また、悩みを抱える生徒からの相談には迅速に対応することができた。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部講師による講演等を活用し、正しい知識と実践力を身に付けさせる。校内外のルールやマナー、他者への配慮等の指導を継続する。</li> </ul>	
保健	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症拡大防止のための呼びかけを行う。</li> <li>・スクールカウンセラーを有効利用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全職員による予防策の呼びかけによって、感染症の大流行を防ぐことができた。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症拡大防止のための呼びかけを継続して実施する。</li> </ul>	
教育相談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の健全育成に努め、心身の諸問題の解決を積極的に支援する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールカウンセラーの来校予定を周知し、カウンセリングが有効と思われる生徒には相談を勧めた。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他分掌との連携を強化し、生徒の事故防止につとめる。</li> </ul>	
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会委員会活動の活性化を図り、自主的・創造的生徒会活動を支援する。</li> <li>・特色ある学校行事や部活動を支援する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が中心となり、自主的・意欲的な活動ができた。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が意欲的に取り組む学校行事を継続すると同時に、開催時期について検討する。</li> </ul>	
図書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書活動を推進するとともに、情報センターとしての図書館を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み聞かせボランティアやビブリオバトルに参加することにより、読書活動の推進に結びついた。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より多くの生徒が読書に興味をもつよう、クラス文庫の充実と「図書館だより」等の広報活動に力をいれる。</li> </ul>	
家庭地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校情報をホームページ等で発信し、地域や家庭との連携を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページや地域への回覧紙「秋商だより」を通して学校情報を定期的に外部に発信することができた。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者参加型の学校行事を検討し、地域と連携した防災訓練を引き続き実施する。</li> </ul>	